

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 褒める教育で、より良い人格形成を (40分)</p> <p>教育の根本は児童にやどる無限の可能性を信じ、発見し、それを賞揚し、激励し、自信を高め、勉学に興味をもたせることにあるのであり、一人前の社会人になれるよう互いに高め合っていくことが必要であります。</p> <p>本市立の小中学校の学校教育目標の中には、「新町小・かがやく自分へチャレンジ」、「南小・きらきらと瞳輝く南の子」<日本一の小学校を目指そう！>等があり、児童にやどる潜在力を引き出す目標となっております。各校では、これらの教育目標に沿った教育がなされていると思っております。教育目標を達成するための具体的な取り組み内容について以下質問を致します。</p> <p>(1) 褒める教育の有効性についての認識は。</p> <p>(2) 発達段階に応じた指導方法は。</p> <p>(3) 義務教育段階での褒めて育てる教育の有効性は。</p> <p>(4) おおいに児童の賞賛を。 ア 卒業式での皆勤賞の扱いについて イ 運動競技記録や芸術面での賞の扱いについて</p> <p>2 学校運営における予備費について (20分)</p> <p>日々の学校運営は、児童数の多少にもよりますが、日常的に様々な業務や作業や準備等が多くあると思います。それらに係る予算は通年的に割り出し、それぞれに配分がなされていると思います。</p> <p>しかしながら、授業時や校内活動時などで「ふと」こんなものが必要だが予算要求をしていなかったことで予算化されていない、しかるに購入できないで学校運営に支障をきたすことがあつては教育の充実の観点からも残念であります。柔軟的に対応ができているのか現状について以下質問を致します。</p> <p>(1) 用途が自由な各学校の予備費は。 (2) 突発的な購入品が生じた時の対応は。</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>